企業・団体名（　株式会社早野組　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。 ・年齢や性別、人種や国籍による職種制限は設けず、本人の希望を加味した人財活用を行っている。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・「ハラスメント防止規程」を制定している。 ・全社員を対象にハラスメント研修を実施している。 ・ハラスメント相談窓口を設置し、ポスターを掲示している。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・勤怠管理システムを導入し、適正な労働時間の管理、長時間労働の防止に取組んでいる。 ・毎週水曜日をノー残業デーとして設定している。 ・WLBの充実化のために、提案制度や各種休暇制度の制定、有給休暇取得促進により、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・外国人労働者は現在在籍していないが、情報収集に努めている。 ・【予定】今後外国人労働者雇用において適切な処置や労働環境を協力業者を含め整備を行う。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・安全衛生委員会を毎月開催し、内容について社内イントラネットで水平展開している。 ・部門ごとの安全パトロール、店社安全衛生パトロールを行い、労働災害の防止に努めている。 ・社員・協力業者向けに労働安全講習会を実施している。 ・安全指針、災害事例等の各種事例を社内に発信して、安全対策の推進や指導の徹底に努めている。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・「ストレスチェック実施規程」を定め、年１回ストレスチェックを実施。結果を安全衛生委員会にフィードバックし、課題に対する対応策を水平展開している。 ・相談窓口を設置し、イントラネットで周知している。 ・ストレスチェック時に無記名の「コメント」を記入してもらい、会社運営の課題を抽出している。			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・多様な人材を採用し、福利厚生も統一した制度を設けている。 ・短時間勤務、時差出勤、在宅勤務等の制度を定め、多様な働き方を許容する勤務体制を整備している。 ・60歳定年以降70歳までの継続雇用を実施し、高齢者雇用環境の充実、後進への技術継承に努めている。。 ・工事現場で女性が働きやすい環境を整えるべく、女性専用トイレの設置、女性用作業着、女性用ヘルメットの選定を行っている。 ・女性の活躍を促進し、出産育児に対する休暇取得促進や保育施設との連携を行っている。					○			○		○								
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・全国健康保険協会山梨支部の「健康企業宣言」を行っている。 ・やまなし健康経営優良企業に認定されている。 ・甲府市健康チャレンジ表彰で2021年度最優秀賞を受賞している。			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・資格取得奨励制度を設け、業務に必要な資格取得に対し資格手当の支給や受験費用の補助を行っている。一部の資格については、事前講習会費用を合格した場合全額会社負担している。 ・職務遂行に必要な知識や技術等を継承するため、定期的に若手社員向けの講習会を開催し講師は管理職等が対応している。 ・全社及び部門ごとに教育・訓練計画書を策定し、計画に則って研修を実施するとと共に、OJTを活用し人財育成を実施している。 ・業務知識向上等を目的に研修会や講習会等の機会を提供すると共に、積極的に参加できる環境を整えている。				○				○	○								

10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	・労働契約法などの労働関連法規の内容を理解し、同一労働同一賃金の原則に沿った体制を整備し、対応している。							○		○							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・廃棄物の種類・量など現状を把握し、通年目標を定め、排出量削減の取組みを継続的に行っている。 ・本社、現場事務所等の各事業所において廃棄物を適切に分別している。 ・山梨県チャレンジ産廃3R運動に参加している。										○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・ISO14001に則り自社のエネルギー使用量を把握し、使用エネルギーの削減に努めている。						○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・ISO14001に則り、本社オフィスから排出するＣＯ２の排出量を把握し、年間計画を策定して排出量の削減に努めている。 ・アスファルトプラントでは加熱時の燃料を削減するために、中温化技術の活用など新しい技術の導入をはかり、排出量の削減に努めている。						○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・ISO14001に則り、法令で規制されている有害物質を把握し、管理を徹底している。 ・建物の解体及び改修工事では廃棄物の削減に取り組んでおり、建物解体時のアスベスト調査実施や発生した廃棄物は適法に処理を行い、又土壌汚染の防止に取り組んでいる。			○		○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・ISO14001に則り、生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。					○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・自動水栓の導入など構造的な削減方法に加え、水使用量を把握して管理する事で、利用効率の改善に努めている。					○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・ISO14001を認証取得し、環境維持活動に努めている。			○		○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・ホームページにて環境への取組みを公開している。											○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・本社に太陽光発電設備を設置している。 ・メガソーラー事業など自然エネルギーを活用した発電事業を数多く手がけている。 ・自然エネルギー供給会社から、再生可能電力を工事用仮設電力として購入する等、環境負荷軽減に努めている。						○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・違法な資源を使用しないことの確認を行っている。											○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・本社及び作業所の資源利用の削減、資源の再利用、再資源化の推進に取組んでいる。 ・山梨県チャレンジ産廃３R運動に参加している。 ・グリーン購入を推進している。					○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・汚職、贈収賄禁止等を含む企業倫理綱領を定めホームページに掲載し、社内に浸透させている。 ・山梨県建設業協会行動憲章を掲示し、浸透させている。															○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・不正競争行為禁止を含む企業倫理綱領を定め、ホームページに掲載し社内に浸透させている。 ・建設業法、独禁法に則り業務を遂行している。															○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・特許など知的財産権を取得し管理をしている。 ・製品開発における特許侵害調査などを行っている。							○	○								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・「個人情報保護方針」を定めホームページに掲載するとともに体制を整備している。 ・「個人情報取扱規程」を定め社内に周知している。															○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	紛争鉱物は取り扱っておらず、今後も使わない。															○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	・協力業者との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認行動を行っている。 ・ISO9001に基づき、適切な購入先の選定に勤めている。				○			○		○		○	○	○	○	○	○
28		【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・ISO9001に基づき、各現場毎に施工計画書を策定し、製品・サービスの安全性を確保している。			○								○					

29	製品・サービス	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・ISO9001に基づき、顧客アンケートやクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・毎年社長品質方針を策定し、マネジメントレビューを実施している。								○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・環境配慮設計により、お客様にライフサイクルで環境に配慮した設計を進めている。					○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・災害復旧工事、道路除雪、突発的な道路維持修繕等の依頼に迅速に対応している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・工事現場における近隣あいさつや、清掃活動等の地域との対話を通じて事業の地域への影響を把握して改善に努めている。 ・本社の近隣において、毎月1回地域清掃活動を実施している。又、年1回愛宕山スカイラインの清掃活動の実施している。				○				○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・各種団体の活動趣旨に賛同し寄付・支援活動を実施している。 ・こども食堂・フードバンク山梨へ食料品などを提供している。 ・ISO14001の環境活動計画の中で社会貢献、地域貢献の実施目標を策定し、定期的に貢献活動を実施している。				○						○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	・地元製品、地元企業を優先して採用している。 ・設計提案時に県産木材の利用提案を行い、地域資源の積極的利用に取組んでいる。							○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・経営トップが常に法令遵守（コンプライアンス）の重要性を社員に向けて発信している。 ・社内会議、イントラネットで法令遵守の重要性を全社員に向けて発信及び周知している。															○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念（及びＳＤＧｓとの関係）・経営目標を明文化し、ホームページに掲載している。 ・経営トップが適時、経営理念・経営目標を社員に伝え、社員への共有を図っている。							○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・企業倫理綱領に法令等の遵守を定め、誠実かつ適切な企業活動を実践している。															○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・品質・環境管理室を設置し、品質・環境活動を管理している。 ・ISO統合マニュアルにおいて、組織の役割、責任、権限を明確にしている。															○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・マネジメントレビューで現状分析し、リスクと機会を特定している。 ・安全管理においてはRKY活動を実施している。															○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	・社内会議、イントラネット、ホームページ等でCSRを常に周知し、責任を持った対応をしている。															○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・適宜ステークホルダーと対話する場を設け、自社活動への理解を深めていただくとともに、ステークホルダーの影響を把握し、対応している。															○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・国土交通省関東地方整備局にて「建設会社における災害時の基礎的事業継続力」認定済み。 ・「新型コロナウイルス感染症発生時における事業継続計画」を策定し、経済産業省に認定を申請している。								○		○		○			○	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済	・確実に実施されている。							○	○								○

【記載留意事項】

・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17